

中等教育コース（保健体育） スポーツ文化論
遠隔非同期型の授業評価・授業研究報告
保健体育講座・石井浩一

1. 授業概要

科目区分：中等教育コース（保健体育）
科目名：スポーツ文化論
担当教員名：石井浩一
登録学生数：8

1-1 授業の目的

スポーツは、政治・経済・教育などを含む私たちの社会生活の様々な側面と連関する大きな文化現象となっています。現行『中学校学習指導要領解説保健体育編』第3学年では、「文化としてのスポーツの意義」、『高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編』スポーツ概論のなかでは、スポーツの歴史・文化的特性と現代の特徴が教授すべき内容として明記されています。

また「スポーツ基本法」では、「スポーツは人類共通の文化である」ことが明記され、スポーツ文化という言葉も市民権を得たと考えられます。このような社会状況に於いて、スポーツを、歴史、文化人類学、社会学という多角的な視点から考える「スポーツ文化論」という授業は大変意義のあるものである。

1-2 授業の到達目標

- ①文化としてのスポーツ意義について理解できる（知識・思考、意欲・関心）
- ②スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できる（知識・思考、意欲・関心）

1-3 関連する DP(ディプロマ・ポリシー)

教育と教職に関する確かな知識と得意とする分野の専門的知識を修得している。（知識・理解）教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。（思考・判断・表現）

1-4 授業の方法、形態

新型コロナウイルス感染防止対策のため

遠隔非同期 Moodle を使って行った。受講生には、教科書として『よくわかるスポーツ文化論[改訂版]』（ISBN:9784623088393）を購入してもらい、筆者から教科書の内容に準拠して毎週課題を提示した。受講生は Moodle にレポートを提出。筆者は適宜提出されたレポートに対して、できるだけ Moodle のコメント欄にコメントを保存するという形態をとった。

1-5 内容の概要

第1回：ガイダンス（zoom）

教科書の説明、レポートの提出方法、成績の出し方の説明

第2回：近代スポーツの成立と発展

第3回：メディア化するスポーツ

第4回：消費文化としてのスポーツ

第5回：スポーツと政治・権力

第6回：スポーツとジェンダー

第7回：スポーツと教育

第8回：中間テスト

第9回：生活からスポーツへ

第10回：スポーツと地域社会

第11回：職業としてのスポーツ

第12回：日本のスポーツ文化

第13回：グローバル化するスポーツ

第14回：スポーツをめぐる社会問題

第15回：総括、期末テスト

*ただし、遠隔非同期の授業になったため一部授業内容を変更した。また中間テスト、期末テストは行わなかった。

2. アンケート回答にみる今後の課題

授業の最後に、以下の説明文を付けてアンケートに回答してもらった。

授業中に提出を求めた以下 14 の課題のうち、自分が提出した課題のみについて回答してください。自分がレポートを出していない課題についてはアンケート回答しなくていいです。

- ①シラバスを参照しながら（特に授業の「到達目標」）、自分が提出した課題について理解が難しかったところ、よくわからなかったところ等、自由に回答願います。
- ②〔 〕で括っていますが、字数に制限はありません。
- ③ 成績評価には一切関係ありません。

以下、14の課題に対する回答と筆者の思うところ、課題を述べていく。

【課題 1】 近代スポーツと近代以前のスポーツの違いを述べてください。

回答 1:「スポーツ文化の歴史について調べることで違いを発見することができた」

回答 2:「近代以前のスポーツについての理解が難しかった」

【課題 2】 スポーツとメディアの関係史を述べ、続けて、今後スポーツとメディアの関係はどうなっていくと予想するか述べてください。

回答 1:「他の回でメディアのとの関係を述べるところがあり、この回での知識を活用できた」

回答 2:「スポーツとメディアは持ちつ持たれつの関係であることが調べたことでわかった」

【課題 3】 スポーツに政治・権力が介入した具体的な事例について述べてください。

回答 1:「ヨーロッパでのスポーツの歴史的な理解が難しかった」

回答 2:「スポーツは文化であるのか、そうではないのかを理解するのが難しかった」

➡筆者:これは大きな問題である。スポーツ文化論という授業だが、そもそもスポーツは文化なのか?という投げかけがあってもよかった。

回答 3:「政治と権力について、日本と世界の政治の違い等もある部分が難しかった。ナチスやヒトラーが何なのか... というような部分」

➡筆者:これはもっと深く知りたいという熱意の表れか。政治のことは深く知る必要はないが、浅く知っておく必要はあ

るだろう。ただ、それがスポーツとどう関係するかというのが難しかったかもしれない。

【課題 4】 女性スポーツの発展が男性に比べて遅れたのはなぜか述べてください。

回答 1:「日本はなぜ欧米先進国よりも女性スポーツの発展が遅れたのかが理解できませんでした」

回答 2:「パターンリズムなどの言葉が難しかった」

回答 3:「日本が欧米より遅れた理由を知りたい」

回答 4:「日本と世界どちらも同じような理由だったが、もう少し細かくピンポイントに絞ってほしい。なぜ参加が許されたのか、その理由や運動などを調査するような。」

➡筆者:回答 1~4 は表現が違うだけで、根本的に関連することがらである。確かに受講生のいうように、教科書だけでは理解が難しいと思う。スポーツ以外の事柄を調べる必要があり、それを促すことができなかった。ただ一週間でそこまで求めるのは、過重負担になるかもしれない。

【課題 5】 スポーツ科学の発展がもたらした功罪について述べてください。

回答 1:「ドーピングについて詳しく知ることができた。」

回答 2:「調べていてとても面白かったです。」

【課題 6】 スポーツとテクノロジーの関係についてあなたの考えを述べてください。

回答 1:「問いが抽象的であったことが難しかった。」

➡筆者:確かに抽象的かもしれない。もう少しヒントとなるような具体的事象を出してもよかった。

回答 2:「調べていてとても面白かったです。」

回答 3:「テクノロジーによってルール変更があったらどうなるのかが気になる。」

➡筆者:これはすでに多くのスポーツ、特に用具に依存するスポーツでは何度もルール変更されているのだが、そのこと

がテクノロジーと結びつかないのではないかと思う。したがってこの課題についてもヒントとなるような具体的事象を出してもよかったかと思う。

【課題 7-1】体育とスポーツの違いを述べなさい。

回答 1:「まず、体育とスポーツについての歴史から理解しなければならないところが難しかった。」

回答 2:「体育とスポーツは概念の問題なのか、現象の問題なのか」

➡筆者: 回答 1,2 は共通する回答である。体育とスポーツを事象としてとらえると、体育の授業でとり上げているものの中にはスポーツがあり、一見、体育とスポーツの違いが不明瞭といえなくもない。一方、概念ととらえれば、ネットですぐに出てくる。この 2 人は大変真摯に課題に取り組んだと推察される。筆者の課題の出し方がどっちつかずだったので、体育とスポーツの概念の違いを問うべきだったかもしれないし、加えて、学校体育で行うスポーツと一般社会で行われるスポーツとどう違うのか、という問いかけがあってもよかったかもしれない。

【課題 7-2】日本特有の文化ともいわれる「部活」の文化について、あなたの考えを述べなさい。

回答 1:「部活のことには興味を持ちやすく、書きやすかった」

回答 2:「私がよく考えていることなので、この機会に考えを述べられたのは良かったです。」

回答 3:「熱心な指導のどこからが体罰なのか。」

➡筆者: 回答 3 はとても重要な問題である。部活において、どこからが体罰なのか? 今後同様な疑問が出てきた場合は、文部科学省のホームページ等で確認してもらうことを促す。

【課題 8】スポーツと地域社会のあり方についてあなたの考えを述べなさい (ここでいう地域社会とは、自分の故郷でも

いいですし、自分とは縁はあるが故郷でない地域、あるいは全く縁のない他の地域でもいいです。

回答 1:「自分の考えを見つめなおすいい機会になった。」

回答 2:「スポーツ文化としての在り方について考えていなかった。」

回答 3:「スポーツ社会学的な要素があり、面白かったです。」

【課題 9-1】プロ・スポーツの成立形態について述べなさい。

回答 1:「サラリー・キャップなどの言葉が難しかった。」

回答 2:「野球とサッカーで絞ってもよかったのかもしれない。」

➡筆者: これは確かに課題が漠然としていたかもしれない。プロ・スポーツといっても日本国内で野球、サッカー、バスケットボール、大相撲、テニス、卓球等があり、海外まで広げると、さらにバレーボール、ハンドボール、クリケット、アイスホッケー、アメリカン・フットボール等がある。種目限定で課題を出した方がよかった。

回答 3:「アメリカ型とヨーロッパ型のさらなる違いを理解したい。」

【課題 9-2】日本のプロ・スポーツの発展について述べなさい。

回答 1:「なぜ日本では野球が根強いのか、世界ではサッカーの方が人気を広まっているかなど、文化の違いなどに注目させたテーマでもよかったのかもしれない。」

➡筆者: これはよくある比較論だが、確かに課題として面白いかもしれない。ただこの両者に特化させて日本と欧米のスポーツ文化の違いを…というのはあまりよい課題ではないような気がする。

回答 2:「よく理解できなかった。」

➡筆者: 何がよく理解できなかったのか具体的に言ってほしかった。

【課題 10】日本のスポーツ文化の特質について述べなさい (武道、駅伝など具体的な事例を上げて)。

回答 1:「日本のスポーツ文化が世界にどう影響を与えているのかも気になるところである。」

回答 2:「高校野球がなぜスポーツ文化でないのか理解できない。」

➡筆者: Moodle のコメント欄にコメントを保存しているが、理解されなかったようだ。対面だと、この点について詳しく解説できるのだが…と、歯がゆい思いをした。

【課題 11】スポーツがグローバルな規模で展開することで生じる功罪について述べなさい。

回答 1:「初めは考えるのが難しそうだったが、初めて知ることもあり、幅広い知見を得ることができた」

回答 2:「資本の論理、経済・文化享受などの言葉の意味が難しかった。」

➡筆者: 課題そのものの理解が難しかったかもしれない。“グローバル化が進んだ今日、スポーツの世界で生じるメリット、デメリットについて述べなさい”の方が理解しやすかったかもしれない。

【課題 12】あなたが今注目している、あるいは気になっているスポーツの社会問題について述べなさい。

回答 1:「ストリートダンスの課題についてもっと研究したいと思った。」

回答 2:「自由に調べられて面白かった。」

【課題 13】スポーツにおける差別・社会的排除の歴史を述べたうえで、あなたの考えを述べなさい。

回答 1:「人種差別をなくすにはどうしたら良いか。」

➡筆者: これはスポーツを超えた課題であるので、別に考えてほしいが、対面の授業であれば「スポーツにおける人種差別」について議論させてもいいと思う。

回答 2:「差別も多くあるので、過去の例を出してもよかったのかもしれない。過去の例について調べどう思ったかなど」

【課題 14】障がい者スポーツの歴史と課題に

ついて述べなさい。

回答 1:「障がい者にとって住みやすい社会とは何か。」

➡筆者: これも対面授業であれば、日本における障がい者スポーツの現状などを予め調べさせたうえで、議論の場を設けてもいいと思う。

回答 2:「今後自分はどうかかわっていきたくか聞いても面白いのではないか」

➡筆者: これも対面授業であれば、日本における障がい者スポーツの現状などを予め調べさせたうえで、議論の場を設けてもいいと思う。

<まとめ>

1. 「スポーツ文化論」ではじめて筆記試験を行わず、レポートの出来栄で成績判定をしたが、この方法もよいと思った。
2. 一方で、直接対話ができないため、補足説明に限界があった。